

出東小学校 地域学校運営理事会だより

令和6年3月 出雲市立出東小学校

ごあいさつ

地域学校運営理事会
副理事長 中間 敦司

出東小学校ができてから今年で150年を迎える。

60年くらい前の話になるが、私は古い木造の校舎で勉強していた。

古い木造の造りは、どの小学校もほぼ同じであったが、幅の広く長い廊下があり、掃除の時間には雑巾がけ競争をしていた。

今の鉄筋コンクリート造りの校舎は、私たちが卒業した年に完成した。校舎の建設工事中、基礎の杭打ちの音が鳴り響いていた。6年生の3学期、1月から新しい校舎に入り、最新のスチーム暖房の教室で冬を快適に勉強できる予定であった。しかし、残念ながら工事が遅れ、3月の1か月間だけ私たち6年生のみを優先的に、一部できていた新しい教室に入れてもらった。

その年の冬は、校庭に建てられた仮プレハブ教室で勉強した。今から考えると、きっと寒かっただろうと思うが、石炭ストーブで、毎朝当番が取りに行った石炭が燃えるのをじっと見ながら暖をとっていた時の暖かさの方が記憶に残っている。

私の小学校低学年の頃は、集団生活になじめず、一人で積み木をして遊んでいる方が好きだった。不登校になることが多く、母には苦勞をかけ、担任の先生にもお世話になったと思う。卒業後50年近く経ってから、当時の担任の先生に出東コミセンで不意にお会いしたが、目を合わせて軽くお辞儀をただけで言葉が出てこなかった。私が1・2年生の時の担任の女先生で、6年生の時も担任だった。

今の小学校1年生とは、芋ほりや昔遊び体験を通して交流する機会がある。初めて握った鉛筆で、不慣れな手つきで、一生懸命に感想の絵や文字をかいてくれているのを見ると、昔懐かしい思いが沸き上がってくる。

これからも勉学やスポーツに励んで成長していく、出東の子どもたちを見守っていきたいと思う。

第3回 地域学校運営理事会

2月15日(木)、今年度最後の学習公開日に、理事の皆様にも授業を見ていただいた後、第3回地域学校運営理事会を行いました。

今年度は、授業だけでなく運動会や学習発表会、6年生を送る会など、学校行事を見ていただく機会を増やしました。そこで、出東小学校の子どもたちの頑張りや成長をたくさん見ていただけたことを大変うれしく思っています。

理事会では、建設的で貴重なご意見や温かいお言葉をいただきました。次年度の学校運営に活かしていきたいと思っております。



＜地域の方との交流活動＞ 1年生 昔の遊び体験（お手玉、めんこ、こま回し、けん玉、あやとり、おはじき）



1・2・3年生 人権教室



3年生 しめ縄作り体験



4年生 味噌・豆腐作り（大豆の栽培・収穫後）



6年生 地域ボランティア（出東こども園・出東コミュニティセンター・通学路の清掃とごみ拾い）



本校の学校経営の重点の一つに、「ふるさとを愛する子」を育てることがあります。

様々な地域の豊富な素材に触れる体験活動や地域の方との交流活動を通して、児童は出東・斐川のよさ（宝）を実感しています。このことがふるさとに対する「愛着」や「誇り」「感謝」につながっています。今後とも地域の皆様には、共に出東小学校の子どもたちを見守り、育てていていただきますようお願いいたします。